

3月13日(水) 本年度第31回(通算2951回)12時30分～ 釧路プリンスホテル
『水と衛生月間によせて』

担当/社会奉仕委員会

☆お客様

古川幸男様 (釧路市上下水道部 部長)

☆メーキャップ

2.21 家庭集会

石部 雅規君、菊池 美恵子さん、北川 健二君、小久保 智紀君、佐久間 泰弘君、本間 弘人君
松下 貴志君、森山 義文君、田村 憲一郎君、中嶋 嘉昭君、安田 正二君、山岸 弘典君

2.25 家庭集会

石井 東洋彦君、長内 信辰君、泰地 浩幸君、平井 昌弘君、松橋 記之君、宮下 洋介君

2.26 家庭集会

伊勢 佳訓君、大友 淳君、小松 亮次君、高橋 貢君、平澤 利秀君、星 耕輔君、吉田 茂樹君

☆出席報告【会員総数79名 免除4名 出席計算に用いた会員数79名】

本日の出席率 出席者 38名 メーキャップ 25名 本日の出席率 79.7%

前々回の出席率 出席者 41名 メーキャップ 11名 本日の出席率 65.8%

☆ニコニコ献金

- ・古川様、本日の講演よろしくお願ひ致します ～小林 裕幸君
- ・ 〃 小野寺ガバナー補佐、復帰おめでとうございます ～大友 淳君
- ・小野寺ガバナー補佐、退院おめでとうございます ～石森 將敬君、中島谷 友一朗君、平井 昌弘君
- ・退院しました ～小野寺 英夫君
- ・古川部長よろしくお願ひ致します ～田野 竜之介君
- ・結婚記念日のお花ありがとうございました ～寺岡 肇君
- ・古川様、本日よろしくお願ひ致します ～中島 仁実君
- ・田野委員長、本日は宜しくお願ひ致します。古川様、本日はありがとうございました ～本間 明美君
- ・誕生日ありがとうございます ～安田 正二君

《大友幹事》



◆幹事報告

【 お知らせ 】

1. 釧路北ローターアクトクラブより第16回例会の案内が来ています。参加希望の方は、出欠席連絡書にご記入ください。

【 回 覧 】

1. 厚岸 RC 様より、会報並びに3月プログラムが届いています。

☆《小林会長》☆



皆さんこんにちは。先週のIM直会、多数の会員の皆様の参加ありがとうございます。クラブ全員で一つの事業を終了した後、皆でお酒を酌み交わし、会員どうしの親睦を深めそれぞれの労をねぎらう、そして次にまたそういう機会が来た時に今回の経験を生かして次につなげていく、経験は力なりという言葉をお話を会長方針の中で使わせていただきました。特に若い会員の皆さんは、一つ経験を重ね、力を確実に身につけたと感じているところです。

さて、本日は、RI特別月間3月は、水と衛星月間となっております。地球は、水の惑星とも呼ばれ、地球の表面積の3分の2は水で覆われております。およそ14億立方キロメートルの水があるそうです。しかし、そのうちの97.5%は海水、淡水はわずか2.5%、この淡水の大部分は北極、南極などの氷や氷河として凍っており、実際に人間が、容易に使える水は0.01%、10万立方キロメートルに過ぎないそうです。世界の半分以上の人たちは水道を持っていません、水道がなくても安全な地下水や雨水を利用できればいいのですが、利用できるのは、わずかだそうです。顔や体が洗えない、洗濯ができないなど、衛生状態が保てないと、眼病・皮膚病・ノミ・シラミが媒介する病気が蔓延する。それらを防ぎ衛生的な生活をするためには、1日一人当たり20リットルの水が必要だそうです。私たちは、安全な水道水が蛇口をひねると自由に使い、顔を洗う、お茶を飲む、お風呂に入る、水洗トイレを使用できる、というように不自由なく生活できています。

世界では安全な水が利用できない人は7億4,800万人いるといわれています。本日は、水の重要性について改めて考えていただければと、水と衛星月間にちなんで、お話をさせていただきました。

水と衛星月間によせて

田野社会奉仕委員長



皆さま、こんにちは

3月は「水と衛星月間によせて」となっております。ロータリーでは「水と衛星」は6つの重点分野のひとつに掲げられています。水が、とても大切であることを考え本日は、釧路市下水道部の古川幸男部長にご講演頂きたいと思っております。略歴等は、のちほどご本人からご紹介があると思っておりますので、割愛させていただきます。

普段皆さまが使われている上水・飲用に適した・水の供給や、下水、生活排水・産業排水・汚水等の処理施設など何不自由なく使われている水ですが、釧路市上下水道部が見えないところで取り組まれている事業や活動や下水の大切さを深く理解していただくため、ユーモアあるプロジェクト等をご紹介して頂きたいと思っております。

それでは、古川部長宜しくお願い致します



皆さま こんにちは。本日はこのような席に呼んで頂き大変光栄に思います。日頃より、釧路市の上下水道行政に置きましては、会員の皆さま方には、特段のご理解、ご協力を賜ってる事、まずもって御礼申しあげます。

私は、役所に入って37年になり、あと1年来年で退職を迎えます。係長時代は、すべて財政係長です。課長補佐と課長時代は、行財政改革機構でした。簡単に言うと、金切族、人切族、で役所のなかでは、嫌われておりました。次長になって、福祉部次長となり始めて市民の皆様と一緒にやるようになりました。

その後、部長職を拝命するに当たり市長から阿寒町行政センター長をやれと言われました。そして今年度4月に、市長から上下水道部長をやれと言われました。

ここで本題に入ります。本日用意させていただいたのは、「水と衛生月間によせて」ということで、今日はマンホールカードが及ぼす公共下水道への理解と観光振興についてお話しさせていただければと思います。

マンホールカードとは、マンホール蓋を国民に楽しく伝え、下水道への理解・関心を深めてもらう広報ツールです。現在407自治体で478種類・道内では27種類あります。マンホールカードのコンセプトとしては「集める楽しさ」があります。これは配布場所を訪れることでしか入手できないことになっています。釧路市は、平成3年4月28日から配布を開始致しました。釧路市のカードは、「くしろの夕日」の中を「3羽のタンチョウ」が飛ぶ様子が描かれています。

現在の配布状況は、3,200枚、内訳は市内1,426人、道内1,177人、道外597人となっています。カードを受け取った後に、そのまま実物を見に行く方も多いです。マンホールカードを活用したイベントも多くなってきております。このようなイベントがきっかけとなり、観光や地元活性化など、街の魅力アップにもつながっています。

マンホールカードを利用した今後の施策としては、カードをきっかけにマンホール蓋がちょうもくされ、現地に行かないと入手できないことから「マンホラー」や「蓋女」呼ばれるマンホールファンが出現し、各地に足を運んでいただくことで観光振興につなげることが可能と考えています。そしてイベントを通じて、市民の下水道への関心を高め、事業への理解と協力を深めることが出来ると考えています。釧路市では今後、阿寒地区や音別地区でマンホールカードの制作を検討しており、これにより3地区の観光周遊が期待できます。

今後とも、上下水道部への皆様のより一層のご理解と御協力をお願い申し上げます。本日の講演の締めとさせていただきます。

本日はご清聴ありがとうございました。



今週のスナップ

